

toitta 利用規約

この利用規約（以下「本規約」といいます。）は、株式会社はてな（以下「当社」といいます。）が提供する「toitta」（以下「本サービス」といいます。）の利用に関する権利義務関係が定められています。本サービスの利用に際しては、本規約の全文をお読みいただいた上で、本規約に同意ください。

第1条 （適用）

1. 本規約は、本サービスの利用に関するユーザーと当社との間の権利義務関係を定めることを目的とし、ユーザーと当社との間の本サービスの間に関する一切の關係に適用されます。
2. 本サービスに関して本規約とは別に契約、規約、ガイドライン、ヘルプ、FAQ、提案資料等（以下、「個別契約等」といいます。）が存在する場合、当該個別契約等も本規約の一部を構成するものとし、当該個別契約等の定めと本規約の定めとの間で矛盾が発生する場合には、特段の定めがない限り、個別契約等が適用されます。
3. ユーザーは、本利用契約の期間中、本サービスの通常想定される利用目的の範囲内で、本規約に従って本サービスを利用することができます。

第2条 （定義）

1. 本規約において使用する以下の用語は、以下に定める意味を有するものとします。
 - ① 「ユーザー」とは、第3条に基づき当社との間で本利用契約を締結した法人又は団体及び個人をいいます。
 - ② 「本利用契約」とは、本規約に基づきユーザーと当社との間で締結される本サービスの利用に関する契約をいいます。
 - ③ 「利用希望者」とは、本サービスの利用を希望し、登録の申込みを行い又は登録の申込みを行おうとする法人又は団体及び個人をいいます。
 - ④ 「ユーザーコンテンツ」とは、ユーザーが本サービスにアップロード又は送信するコンテンツをいい、本サービスを通じて当該コンテンツが解析又は加工されたものを含みます。
 - ⑤ 「法令等」とは、法律、政令、省令、通達、規則、条例、裁判所の判決、決定、命令又は強制力のある行政処分、ガイドラインその他の規制の総称をいいます。
 - ⑥ 「個人情報」とは、個人に関する情報であって、個人情報の保護に関する法律第2条第1項により定義されたものをいいます。

第3条 （本サービスの申込）

1. 利用希望者は、本規約に同意した上で、当社が定める情報（以下「登録情報」といいます。）

す。)を当社に提供することにより、本サービスの利用を申請することができます。なお、法人その他の団体に所属する個人が当該団体を代表して利用の申請を行った場合、当該個人は、当該団体を代表して申し込みを行う正当な権限を有するものとみなします。

2. 当社は、当社の基準に従って登録の可否を判断し、当社が登録を認める場合にはその旨を当該利用希望者に通知します。この通知をもって、本サービスに関するユーザーとしての登録は完了したものとします。
3. 前項の登録の完了を持って、本規約を契約内容とする利用契約がユーザーと当社との間に成立し、ユーザーは本サービスを本規約に従って利用できるようになります。
4. 利用希望者が以下の各号のいずれかに該当し又は該当するおそれがあると当社が判断した場合には、登録を拒否することができます。なお、登録申請が承認されなかったとしても、当社はその理由を開示する義務を負いません。
 - ① 当社に提供された登録情報の全部又は一部につき虚偽、誤記又は記入漏れがある場合
 - ② 本サービスと類似あるいは競合するサービス等を運営している又はその運営に協力していると当社が判断した場合
 - ③ 反社会的勢力等に所属し若しくは過去に所属していた場合、その他反社会的勢力等と何らかの交流若しくは関与等がある場合
 - ④ 過去に、本サービスその他当社のサービスの利用登録の拒否若しくは取消等の措置を受けた場合、第 11 条に基づく利用停止の措置を受け若しくは本利用契約を解約された場合、又は当社との契約その他の合意に違反した場合
 - ⑤ 未成年者、成年被後見人、被保佐人又は被補助人のいずれかであり、法定代理人、後見人、保佐人又は補助人の同意等を得ていなかった場合
 - ⑥ その他当社が登録を不相当と認める場合

第4条 (アカウント)

1. ユーザーは、ID、パスワードその他自己のアカウントに関する情報を、自己の責任において安全に管理・保管し、第三者による不正使用を防止するために必要な措置を講じるものとします。
2. ユーザーは、自己のアカウントを第三者に貸与、共有、譲渡、名義変更その他の方法により第三者に使用させてはなりません。
3. 当社は、ID とパスワードの一致を確認した場合、当該 ID 及びパスワードの保有者として登録されたユーザーが本サービスを利用したものとみなします。
4. ユーザーは、本サービスのアカウントの不正利用又は第三者による使用又はそれらのおそれが判明した場合には、ただちにその旨を当社に通知するとともに、当社からの指

示に従うものとしします。

5. ユーザーは、登録情報に変更が生じた場合、当社の定める方法により、当該登録情報の変更を遅滞なく当社に通知しなければならないものとしします。
6. ユーザーが前項の通知を怠ったことにより、ユーザー又は第三者が損害を被った場合当社では責任を負わないものとしします。
7. 本サービス以外の ID 認証基盤と連携し、シングルサインオン等を利用する場合、連携先のアカウント情報に関してもユーザーが自己の責任で管理するものとし、ユーザーに損害が生じたとしても、当社は一切責任を負いません。

第5条 (利用料金)

1. 本サービスの利用料金は、当社が別途定める契約プランのとおりとしします。なお、本サービスの利用開始日又は利用終了日が月の途中であった場合においても、利用料金の日割り計算等は行わないものとしします。
2. ユーザーは利用料金を、当社が発行する請求書に従い、当社指定の金融機関の口座へ振込む方法によって支払うものとしします。なお、振込手数料は、ユーザーの負担とし、支払期日が金融機関の休業日に該当する場合、前営業日を支払期日としします。
3. ユーザーが、第 1 項に定める利用料金の支払いを遅滞した場合、年 14.6%の割合による遅延損害金を当社に支払うものとしします。

第6条 (禁止事項)

1. ユーザーは、本サービスを利用するにあたり、故意過失を問わず、以下に該当し又はそのおそれがある行為を、行為形態の如何にかかわらず、行うことはできません。
 - ① 第三者の権利を侵害する行為
 - ② プライバシーを侵害する行為
 - ③ 詐欺行為
 - ④ 無限連鎖講（ネズミ講）を開設し、又はこれを勧誘・運営する行為
 - ⑤ 不正アクセス行為の防止等に関する法律に違反する行為、電子計算機損壊等業務妨害罪（刑法第 234 条の 2）に該当する行為をはじめ、当社及び他人のコンピューターに対して不正な操作を行う行為
 - ⑥ 当社が本サービスで利用する生成 AI サービスの規約に違反する行為
 - ⑦ その他犯罪に関わる行為あるいは法令に違反する行為
2. ユーザーは、本サービスを利用するに際し、以下のような不適切な行為を行ってはなりません。
 - ① 迷惑行為、嫌がらせ行為、誹謗中傷行為、第三者に精神的被害・経済的被害を与える行為
 - ② 本サービスを利用して、反社会的勢力等の活動を助長又は反社会的勢力等に利益を

供与する行為

- ③ 社会通念上好ましくない行為、第三者に対して迷惑となり得る行為に対して、当社から注意勧告を受けたにも関わらず、正当な理由なく同様の利用を継続する行為
- ④ 当社の承諾無く本サービスあるいはアカウントを転用・売却・再販・譲渡する行為
- ⑤ 逆コンパイル又は逆アSEMBル等、本サービスを解析するための一切のリバースエンジニアリング行為
- ⑥ 本サービスを当社の事前の許諾なく、第三者に提供、販売、再販売、利用許諾、再利用許諾若しくはリースすること、アウトソーシングサービスの一部とする行為
- ⑦ 本サービスを本サービス利用以外の目的で利用する行為
- ⑧ その他、当社が不適切と判断する行為

第7条 (ユーザーの責任と非保証)

1. ユーザーは、本サービスを利用するために必要な機器、通信回線その他の利用環境（ハードウェア、ウェブブラウザや OS 等のソフトウェアを含みますが、これに限りません。）は、ユーザーが自らの責任と費用負担で適切に用意するものとします。
2. ユーザーは、本サービスでユーザーコンテンツを利用する正当な権限があること及びユーザーコンテンツのアップロード等が第三者の権利又は利益を侵害しないことを保証し、本サービスを利用するものとします。
3. 当社は、本サービスが、ユーザーの特定の目的に適合すること、期待する機能・商品的価値・正確性・有用性・完全性・安全性を有すること、及び不具合が生じないこと並びに本サービスが一定水準以上の判定精度を有するものであることについて、何ら保証するものではありません。
4. 当社は、ユーザーが本サービスにアップロードするデータが、本サービスの利用に起因して消失、消滅、変化等しないことについて保証を行うものではありません。ユーザーは、自己の責任において、データの管理を行い、適宜バックアップ等を行ってから本サービスを利用するものとします。
5. 当社は前二項に関連してユーザーが被った損害について責任を負いません。
6. 当社は、本サービスと連携する外部サービスの提供者である第三者が提供するサービス、情報、個人情報の管理等について一切の責任を負いません。ユーザーは、自己の責任において、外部サービスを利用するものとします。
7. ユーザーは、自己の責任において本サービスに入力又は本サービスから出力されるユーザーコンテンツを取り扱うものとし、本サービスの利用に関連して第三者との間で生じた取引、連絡、紛争等については、自己の費用負担と責任において対応及び解決するものとします。

第8条 (知的財産権等)

1. 本サービスに関する特許権、実用新案権、商標権、意匠権、著作権その他の知的財産権（それらの権利を取得し、又はそれらの権利につき登録等を出願する権利を含み、以下、「知的財産権等」といいます。）は全て当社に帰属しており、本利用契約の成立又は本サービスの利用の許諾は、ユーザーに対して本サービスの利用を超える当社の知的財産権等の利用許諾を意味するものではありません。
2. 本規約に明示的に規定されている場合を除き、本サービス及び本規約に関連して当社がユーザーに提供した文章、画像、映像、音声、プログラム等一切のコンテンツに関する知的財産権その他一切の権利及び権限は、当社に帰属します。
3. ユーザーは、ユーザーコンテンツについて、自らがデータ送信等を行う適法な権利を有していること、及び当該データが第三者の権利を侵害していないことについて、当社に表明し、保証するものとします。
4. ユーザーコンテンツの知的財産権はユーザーに帰属します。ユーザーは当社に対し、本サービス上にコンテンツをアップロードした時点で、本サービス提供に必要な範囲における複製、翻案、公衆送信、派生著作物の作成、表示及び実行に関するライセンスを無償にて付与するものとします。なお、当該コンテンツについてユーザーは著作者人格権を行使しないものとします。

第9条 （データの利用）

当社は、登録情報その他のユーザーに関するデータ（個人情報に該当するものを除きます。）を、本サービスの利用状況又はユーザーの状況を分析し、本サービスを含む当社が提供し又は提供しようとしているサービスの品質向上、これらのサービスに関するユーザーへのご案内、その他当社がプライバシーポリシーに定める目的で利用することができるものとします。また、個々のユーザーが特定できない統計的な情報として、統計結果を公表することがあります。

第10条（ユーザーコンテンツの取扱い）

1. ユーザーは、本サービスにおけるユーザーコンテンツの解析等について、外部サービスとして生成 AI サービスが利用されていることを認識し、当該生成 AI サービス 利用規約等に従って、ユーザーコンテンツが解析等されることについて同意するものとします。
2. 当社は、本サービス（本サービスにおいて利用する生成 AI サービスを含みます。）において、ユーザーコンテンツの学習利用は行わず、ユーザーコンテンツを本サービス提供目的のみに利用するものとします。
3. 当社は、ユーザーコンテンツに個人情報が含まれている場合、本サービス提供目的以外で利用しないものとし、法令及び当社規程に基づいて、紛失・破壊・改ざん、漏洩等の危険から保護するための安全管理措置を講じ、厳重に管理するものとします。

4. 当社は、本サービスの提供のため必要がなくなったユーザーコンテンツに関して、一切のコピーを残すことなく、当社責任のもとで速やかに破棄するものとします。
5. 本条の規定は、利用契約が終了した後も有効に存続するものとします。

第11条（当社による利用停止及び契約解除）

1. ユーザーが以下の各号のいずれかの事由に該当すると当社が判断した場合、当社は、事前に通知又は催告することなく、当該ユーザーによる本サービスの利用を一時的に停止、制限若しくは本規約の解除をすることができるものとします。
 - ① 本規約のいずれかの条項に違反した場合
 - ② 第3条4項各号の登録拒否事由のいずれかに該当した場合
 - ③ 本サービスの利用料金その他本利用契約に基づく支払いを期日に行わず、当社の催促から7日以内に支払遅延を解消しない場合
 - ④ 本サービスに関する不正な支払いが判明した場合
 - ⑤ ユーザーが支払停止若しくは支払不能となり、又は、破産手続開始、民事再生手続開始、会社更生手続開始、特別清算開始若しくはこれらに類する手続の開始の申立てがあった場合
 - ⑥ 差押、仮差押、仮処分、強制執行又は競売の申立てがあった場合
 - ⑦ 租税公課の滞納処分を受けた場合
 - ⑧ 個人であるユーザーが死亡した場合
 - ⑨ 前各号に準ずる事態が生じたと当社が判断した場合
2. ユーザーは、前項各号のいずれかの事由に該当した場合、当社に対して負っている債務の一切について当然に期限の利益を失い、ただちに当社に対して全ての債務の支払いを行うものとします。
3. 当社は、本条に基づき当社が行った行為によりユーザーに生じた損害について、当社に故意又は重過失がある場合を除き、一切の責任を負わないものとします。

第12条（有効期間）

1. 本利用契約の有効期間は、申込書等に記載の各料金プランの記載に従うものとします。なお、ユーザーは、当該有効期間中は当社に債務不履行が無い限り本利用契約を途中で解約することができないものとします。
2. ユーザーは、本利用契約が終了した場合であっても、当社及び第三者に対して既に生じた本利用契約上の一切の義務及び債務（損害賠償義務を含みますが、これに限りません。）を免れるものではありません。
3. ユーザーが利用する料金プランに自動更新の定めがある場合、ユーザーが所定の日時まで当社の定める本サービスの終了手続きを行わない場合、本利用契約の有効期間は、本サービスの利用期間の満了後に当社所定の条件に従って自動更新されるものとします。

第13条 (本サービスの停止)

1. 当社は以下のいずれかに該当する場合には、ユーザーに事前に通知することなく、本サービスの全部又は一部の提供を停止できるものとします。
 - ① 本サービスに関わるハードウェア、ソフトウェア、通信機器その他関連する機器若しくはシステムの点検又は保守作業を定期的に又は緊急に行う場合
 - ② コンピューター若しくは通信回線等の障害、誤操作、過度なアクセスの集中、不正アクセス、ハッキング、その他予期せぬ要因により本サービスの提供が困難となった場合
 - ③ 本サービスに関するセキュリティ上の問題が生じた場合
 - ④ 天災地変、戦争、戦争のおそれ、封鎖、通商停止、革命、暴動、伝染病若しくはその他の疫病、物資若しくは施設の破壊若しくは損傷、火災、台風、地震、洪水、その他当社の支配を超える事由
 - ⑤ 法令等又はこれらに基づく措置により本サービスの運営が困難となった場合
 - ⑥ その他前各号に準じる事由により当社が必要と判断した場合
2. 前項により当社が行った措置によって生じた損害について、一切の責任を負いません。

第14条 (本サービスの変更・追加)

1. 当社は、当社の都合により、本サービスの性質に重大な変更が生じない範囲で本サービスの内容の変更又は追加ができるものとします。
2. 当社は、前項により当社が行った措置によって生じた損害について、一切の責任を負いません。

第15条 (本サービスの終了)

1. 当社は、ユーザーへ事前に通知することにより、本サービスの全部又は一部の提供を終了できるものとします。ただし、緊急の場合その他事前の通知が困難な場合には、事後に通知するものとします。
2. 本サービスの全部を終了する場合、当社はユーザーに対して終了予定日の6ヶ月前までに通知を行うものとします。
3. 前二項により当社が行った措置によって生じる損害について、一切の責任を負いません。

第16条 (秘密保持)

1. ユーザー及び当社は、本サービス又は本規約に関連して相手方から開示を受けた情報であって、開示の際に秘密に取り扱うことを明示的に求められた情報(以下「秘密情報」)について、秘密として取り扱うとともに、相手方の事前の承諾がある場合を除き、

第三者に開示しないものとします。また、秘密情報を受領した当事者（以下「受領者」）は、秘密情報を本サービスの利用及び提供目的のためにのみ利用するものとします。

2. 前項の規定にかかわらず、以下の各号のいずれかに該当する情報は、秘密情報には該当しないものとします。
 - ① 開示時点で、既に公知であった情報
 - ② 開示後に、受領者の責めに帰すべき事由によらず公知となった情報
 - ③ 開示時点で、受領者が既に保有していた情報
 - ④ 受領者が、正当な権限を有する第三者から適法に取得した情報
 - ⑤ 秘密情報を用いることなく、受領者が独自に開発した情報
3. 第1項の規定にかかわらず、受領者は、受領者の役員及び従業員、本サービスの委託先、弁護士又は税理士等の法律上の守秘義務を負う者へ開示する場合、法令又は公的機関等の命令等に従って開示する場合、相手方の事前の承諾を得ることなく秘密情報を開示することができるものとします。

第17条（損害賠償）

1. 当社は、本規約の各条項に定める限度においてのみ、本サービスについて責任を負います。当社は、本規約の各条項において補償しないとしている事項、責任を負わないとしている事項、ユーザーの責任としている事項、その他本サービスに関してユーザーに損害が生じた場合について、当社に故意又は過失がある場合を除いて、責任を負いません。
2. 当社の故意又は過失によって、本サービスに関してユーザーに損害が生じた場合、当社は、債務不履行、不法行為その他の請求原因を問わず、ユーザーに現実に生じた直接かつ通常の損害についてのみ責任を負うものとします。その賠償額は、当社に故意又は重過失がある場合を除き、直近6カ月分に発生した利用料金の合計額若しくは30万円いずれか低い金額を上限とします。

第18条（個人情報の取扱い）

当社は、ユーザーに関する個人情報を、当社の個人情報保護方針に従ったプライバシーポリシーに従って取扱います。ユーザーは、当社がこのプライバシーポリシーに従って個人情報を取り扱うことに同意するものとします。

第19条（反社会的勢力の排除）

1. ユーザー及び当社は、相手方に対し、自ら又はその役員（取締役、執行役、執行役員、監査役又はこれらに準ずる者をいう。）若しくは従業員において、反社会的勢力等に該当しないこと、及び次の各号のいずれにも該当せず、かつ将来にわたっても該当しないことを確約し、これを保証するものとします。

- ① 反社会的勢力等が経営を支配していると認められる関係を有すること
 - ② 反社会的勢力等が経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること
 - ③ 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもってする等、不当に反社会的勢力等を利用してしていると認められる関係を有すること
 - ④ 反社会的勢力等に対して暴力団員等であることを知りながら資金等を提供し、又は便宜を供与する等の関与をしていると認められる関係を有すること
 - ⑤ 役員又は経営に実質的に関与している者が反社会的勢力等と社会的に非難されるべき関係を有すること
2. ユーザー及び当社は、自ら又は第三者を利用して次の各号の一にでも該当する行為を行わないことを確約し、これを保証します。
- ① 暴力的な要求行為
 - ② 法的な責任を超えた不当な要求行為
 - ③ 取引に関して、脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為
 - ④ 風説を流布し、偽計を用い又は威力を用いて相手方の信用を毀損し、又は相手方の業務を妨害する行為
 - ⑤ その他前各号に準ずる行為
3. ユーザー及び当社は、相手方が本条に違反した場合には、催告その他の手続きを要しないで、ただちに本利用契約を解除することができるものとします。
4. ユーザー及び当社は、本条に基づく解除により相手方に損害が生じた場合であっても、当該損害の賠償義務を負いません。また、当該解除に起因して自己に生じた損害につき、相手方に対し損害賠償請求することができるものとします。

第20条 （本規約の変更）

1. 当社は、以下の各号のいずれかに該当する場合、本規約を変更することができるものとします。
 - ① 本規約の変更が、ユーザーの一般の利益に適合するとき
 - ② 本規約の変更が、契約をした目的に反せず、かつ、変更の必要性、変更後の内容の相当性、変更の内容その他の変更にかかる事情に照らして合理的なものであるとき
2. 前項の場合、場合は、変更後の本規約等の内容を、本サービス上に表示し又は当社の定める方法により通知することでユーザーに周知します。変更後の本規約の内容等は、この周知の際に定める適用開始日から適用されます。
3. 本規約の変更不同意ユーザーは、前項に定める変更の効力発生日の前日までに、本利用契約を解約するものとします。効力発生日までに本利用契約の解約を行わず、本サービスの利用を継続した場合には、当該変更同意したものとみなします。
4. 当社は、本条に基づいた本規約の変更によりユーザーに損害が生じたとしても、一切の

責任を負いません。

第21条（権利義務の譲渡禁止）

ユーザーは、当社の事前の書面による承諾なく、本利用契約上の地位又は本利用契約に基づく権利若しくは義務を、第三者に譲渡、移転（合併若しくは会社分割による場合を含みます。）、担保設定又はその他の処分をしてはなりません。

第22条（分離可能性）

本規約のいずれかの条項又はその一部が、法令等により無効又は執行不能と判断された場合であっても、本規約の残りの規定又は部分は、継続して完全に効力を有するものとし、ユーザーと当社は、当該無効若しくは執行不能の条項又は部分を適法とし、執行力をもたせるために必要な範囲で修正し、当該無効若しくは執行不能な条項又は部分の趣旨並びに法律的及び経済的に同等の効果を確保できるように努めるものとし、

第23条（協議）

本規約の解釈に疑義が生じた場合、又は本規約に定めのない事項については、ユーザーと当社は、誠意をもって協議の上これを解決するものとし、

第24条（準拠法及び管轄）

1. 本規約は、日本法を準拠法として、日本法に従い解釈されるものとし、
2. 本規約に関する紛争については、東京地方裁判所又は東京簡易裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。なお、調停を行う場合についても同様とします。

2024年5月27日制定

2024年8月5日改定

2024年9月19日改定